

テオフィリン徐放製剤 小児に対する処方時のお願い

保護者の方にご確認ください

- ◎ てんかん及び痙攣の既往歴
- ◎ 発熱の有無
- ◎ 合併症
- ◎ 服用中の薬剤

▶ 発熱時の注意

発熱時にはテオフィリン血中濃度の上昇や痙攣等の症状があらわれることがあります。

発熱は痙攣のリスクファクターであり、小児、特に乳幼児は成人に比べて痙攣を惹起しやすく、また、テオフィリンクリアランスが変動しやすいことが知られています。

処方時に発熱している場合や、本剤服用中に発熱した場合の注意は、下記の記載を参考に指導してください。

★ てんかん及び痙攣の既往歴のある小児

→発熱時には服用を中止し、解熱してから服用を再開する。

★ 乳幼児(5歳以下)

→発熱時には減量(1日の飲む量を減らす)または中止を指導する。

また、注意深く観察するよう指導し、副作用があらわれたとき、いつもと違うなと感じたときには、服用を中止するよう指示する。

▶ 合併症、服用中の薬剤の確認

テオフィリンの作用に影響を及ぼす疾患や薬剤がありますので、合併症の有無や服用中の薬剤について確認してください。

沢井製薬株式会社

テオフィリン徐放製剤をお飲みになる お子様の保護者の方へ

テオフィリン徐放錠50mg／100mg「サワイ」
テオフィリン徐放ドライシロップ小児用20%「サワイ」

このお薬は、気管支を広げる作用などにより、
気管支喘息、喘息性(様)気管支炎による息苦しさ
等をおさえるお薬です。



お飲みになる前に確認してください!

◎このお薬でみられやすい好ましくない作用(副作用)について

お薬は人によって、目的とする作用以外に、好ましくない作用(副作用)があらわれることがあります。このお薬でみられやすい副作用は、**はきけがする、食欲がない、興奮する、寝つきが悪くなる**などの症状です。

◎発熱したとき

発熱している状態でこのお薬を飲むと、副作用があらわれやすくなります。
発熱時の服用方法については、主治医の先生に相談してください。

◎ほかのお薬との飲み合わせ

お薬の中にはこのお薬の作用を強めたり、弱めたりするものがあります。飲み合わせにより、副作用があらわれることや、喘息発作を起こしやすくなる場合があります。

医師、薬剤師の先生に、お子様がテオフィリン徐放製剤を服用中であることをお伝えください。

◎このような飲ませ方は避けてください!

発作が治まらないから、飲み忘れたからといって**2回分を1度に飲ませないでください**。飲ませる間隔を短くするのも避けてください。副作用があらわれやすくなります。

※副作用があらわれたとき、お子様の様子がいつもと違うなと感じたときには、
医師、薬剤師の先生に相談してください。

沢井製薬株式会社